

「出雲力」で夢★未来へつなげ  
誰もが笑顔になれるまち



出雲市  
総合振興計画

出雲  
新話  
2030



出雲市

photo:夜明けの日御碕



市長メッセージ

## 市政を「前へ」

「出雲力」と経済・暮らしの好循環で、  
誰もが笑顔になれるまちへ

出雲市長  
飯塚 俊之

本市は、全国的な人口減少時代の中にあつて、令和2年国勢調査において、山陰地方の都市の中で唯一、人口増加を果たし、可能性に満ちた活力あふれるまちと自負しています。これからも、出雲への愛着と誇りと自信をもって、環日本海の玄関口としての「宍道湖・中海圏域」を牽引し、元気な地方都市のトップランナーとして走り続けるために、新たな出雲市総合振興計画を策定しました。

今、本市を取り巻く状況は大きく変化しています。特に、新型コロナウイルス感染症は私達のライフスタイルや価値観を大きく変えました。また、ロシアによるウクライナ侵攻をはじめとする激動の国際情勢など、不確実で、複雑・曖昧に変動する時代を私達は生きています。このような状況だからこそ、平和を願い、足元をしっかり固め、視野を広げ、国内外の動向に的確かつ迅速に対応し、出雲市政を前に進めていかなければなりません。

新たな総合振興計画は、脈々と受け継がれてきた歴史あるこの出雲の地において、未来を照らす道標となる、新たなストーリーであり、市民の皆さまと「ともに」作りあげていく「出雲新話2030」です。

まちづくりの将来像は、「『出雲力』で夢☆未来へつなげ 誰もが笑顔になれるまち」としました。本市の強みである総合力、あらゆる力を「出雲力（いずもりよく）」と表現し、この「出雲力」をフル活用したまちづくりに取り組み、8年後、本市は、住む人、関わる人、誰もが笑顔になれるまちとなっています。

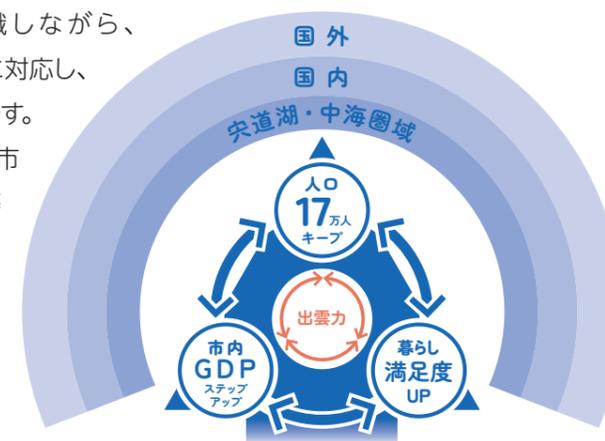
この将来像の実現に向けて、「みんなが活躍する」「地域の魅力を生かした」「持続可能な」まちづくりに取り組みます。出雲の未来を担う若者が夢を持てるまちとなり、今を生きる私達が、しっかりと次世代へバトンを渡したいと思います。

この基本構想に沿って、一つ一つの施策を着実に実践・実現する中で、人口17万人をキープし、地域経済の発展の礎となる「市内総生産（市内GDP）」をさらに引き上げ、市民の皆さまの暮らしの満足度が高まるという、経済と暮らしの好循環を生み出していきます。

併せて、SDGsの17のゴールを常に意識しながら、グローバルな視点で、脱炭素社会やデジタル社会に対応し、「出雲力」を高め、まちづくりを「前へ」進める覚悟です。

終わりに、この基本構想の策定にあたり、出雲市総合計画審議会の委員の皆さまをはじめ、公聴会等において貴重なご意見を賜りました市民の皆さまに対しまして、心から感謝を申し上げます。

皆さま、ともに、新しい出雲のストーリーを作っていきましょう。



夜明けの日御碕

出雲力フォトコンテスト 最優秀出雲力賞。  
出雲日御碕灯台の夜明けを映し出すことにより、新しい出雲の夜明け、即ち、新しい出雲のストーリー「出雲新話」が始まることを感じさせる作品です。また、灯台の灯りは、出雲のまちづくりの未来を照らす道しるべとも重なります。

## 基本構想

4p 基本理念と SDGs

### I. はじめに

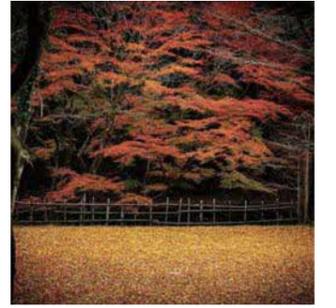
- 6p 01 出雲市総合振興計画「出雲新話2030」とは
  - (1) 策定の目的・意義
  - (2) 計画の構成
  - (3) 計画期間
- 8p 02 出雲市を取り巻く社会情勢2022
- 10p 03 市民のニーズ
- 12p 04 2030に向けての11の課題
- 14p 05 「出雲力」出雲にはこんな力があります
- 16p 06 目標人口

### II. 将来像と基本方策

- 20p まちづくりの将来像
- 22p 6つの基本方策と27のまちづくりの施策
- 24p ともに **創**る
- 30p ともに **守**る
- 34p ともに **結**ぶ
- 40p ともに **支**える
- 50p ともに **育**む
- 56p ともに **楽**しむ
- 62p 各地区に聞いた2030に向けたまちづくりへの思い
- 64p **エリア別将来像** めざすべき都市のかたち
- 66p 地域経済の好循環を生む産業別の重点エリア
- 68p (再掲) 地域経済の好循環を生む産業別の重点エリア

### III. 資料編

- 72p 1. 市章・市の木・市の花・四季の花・SDGs
- 73p 2. 出雲未来図の検証結果（概要）
- 79p 3. 市民満足度調査の結果（概要）
- 84p 4. 高校生アンケート調査の結果（概要）
- 88p 5. 各地区の魅力、次世代に残したいもの
- 110p 6. 私の感じる「#出雲力」フォトコンテスト入賞作品
- 111p 7. 「出雲力」文字デザイン入賞作品
- 112p 8. 各種計画一覧
- 116p 9. 統計データ
- 120p 10. 諮問書・答申書
- 121p 11. 出雲市総合振興計画「出雲新話2030」策定経過
- 124p 12. 出雲市総合計画審議会委員名簿
- 125p 13. 出雲市総合計画推進本部名簿ほか

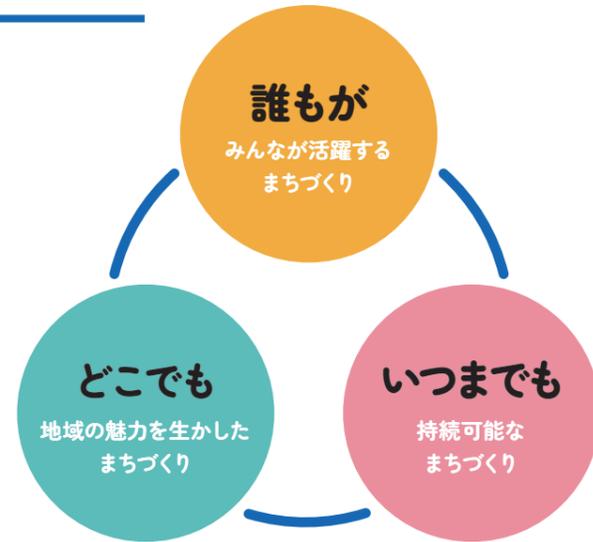


# 基本構想

BASIC CONCEPT

「神在月」、「日が沈む聖地」など、古の時代から、出雲は、  
 特別な聖地として人々の心に深く刻まれてきました。  
 「出雲神話」から続く長い歴史において、生活様式が変化する中であっても、  
 出雲の豊かな自然、伝統文化、人の温かさは、  
 変わらず現代に生きる私たちに受け継がれています。  
 先人から受け継いだ財産を守り、次世代にしっかりと引き継ぐため、  
 今、出雲の新たな物語「出雲新話」が、以下の基本理念のもと、始まります。

## 基本理念



# I. はじめに



出雲市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

SDGsは、2015年9月の国連サミットで採択された「国際社会における2030年までの開発目標」です。持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットで構成され、「地球上の誰一人として取り残さない」ことを誓っています。

出雲市では、こうした世界規模の目標を十分に踏まえ、総合振興計画の各方策、施策の推進に取り組んでいきます。



### (1) 策定の目的・意義

出雲市総合振興計画は、まちづくりを進めるための基本的な方向を示す、本市の最上位の計画です。

前出雲市総合振興計画 新たな出雲の国づくり計画「出雲未来図」では、まちづくりの将来像「げんき、やさしさ、しあわせあふれる縁結びのまち出雲」の実現のために、6つの基本方策と4つの戦略プロジェクトを掲げ、雇用創出や交流人口、定住人口の拡大等を重点的に取り組んできました。

こうした取組により、定住人口17万人を維持し、雇用創出2,500人の目標を達成するなど、市民の約9割が住みやすいと感じるまちとして発展してきました。

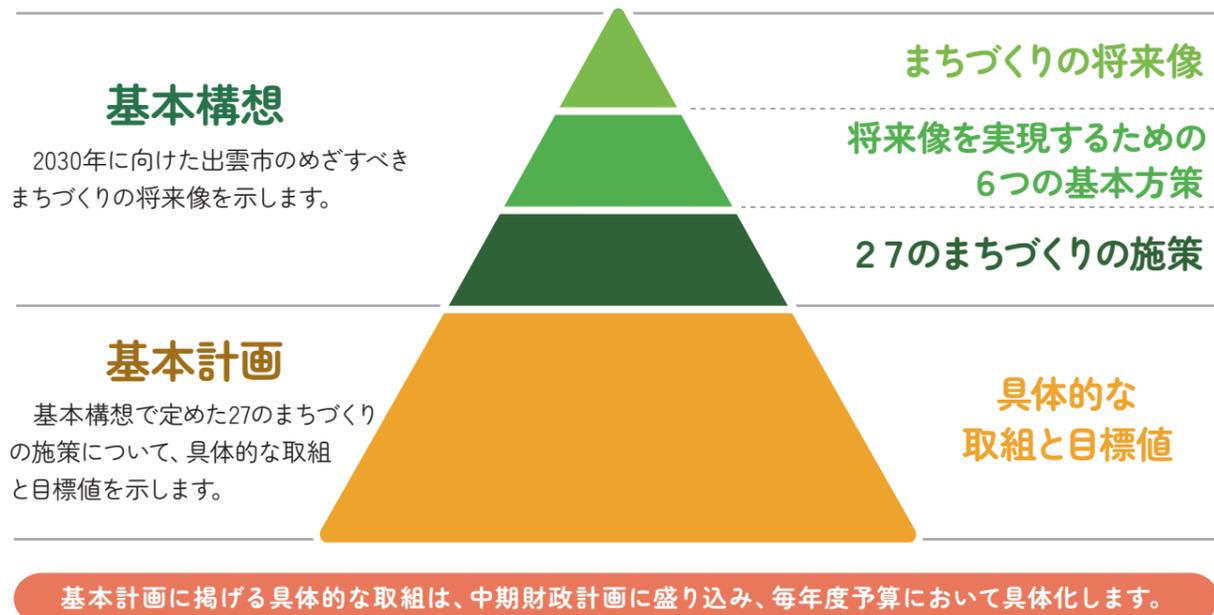
一方、急速に進む少子高齢化や、激動する国際・国内情勢の動向、頻発する大規模自然災害に対する安全安心意識・気候変動による環境意識・人生100年時代における健康意識の高まりなど、価値観やライフスタイルが多様化し、本市を取り巻く環境も大きく変化しています。

さらに、令和2年(2020)1月以降、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威をふるい、市民生活や経済・文化活動に多大な影響が生じる一方で、デジタル化の進展や脱炭素の流れは、私達の生活様式にも大きな変化をもたらしました。

このような変化に柔軟に対応するために、人口減少問題に立ち向かう「出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略」やSDGs(持続可能な開発目標)の理念をふまえ、2030年のめざすべき将来の姿とそれを実現するための基本方策を示す、出雲市総合振興計画「出雲新話2030」を策定しました。

### (2) 計画の構成

出雲市総合振興計画「出雲新話2030」は、「基本構想」と「基本計画」で構成しています。



### ■ 基本構想

計画期間	8年 令和4年度(2022)～令和11年度(2029)
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 出雲市の現状(社会情勢、市民満足度調査結果、課題、地域特性)を踏まえるとともに、目標人口を設定し、出雲市のめざすべきまちづくりの将来像、その実現に向けた基本方策を示しています。</li> <li>○ 各基本方策に、チャレンジする目標を設定し、各種施策を推進します。加えて、エリア別将来像を示します。</li> <li>○ 総合振興計画と「出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略」は、人口減少を克服し、将来にわたり持続可能な出雲市を実現していくという目的は共通することから、「出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略」との整合性を図ります。</li> <li>○ 議会の議決を経て策定します。</li> </ul>

### ■ 基本計画

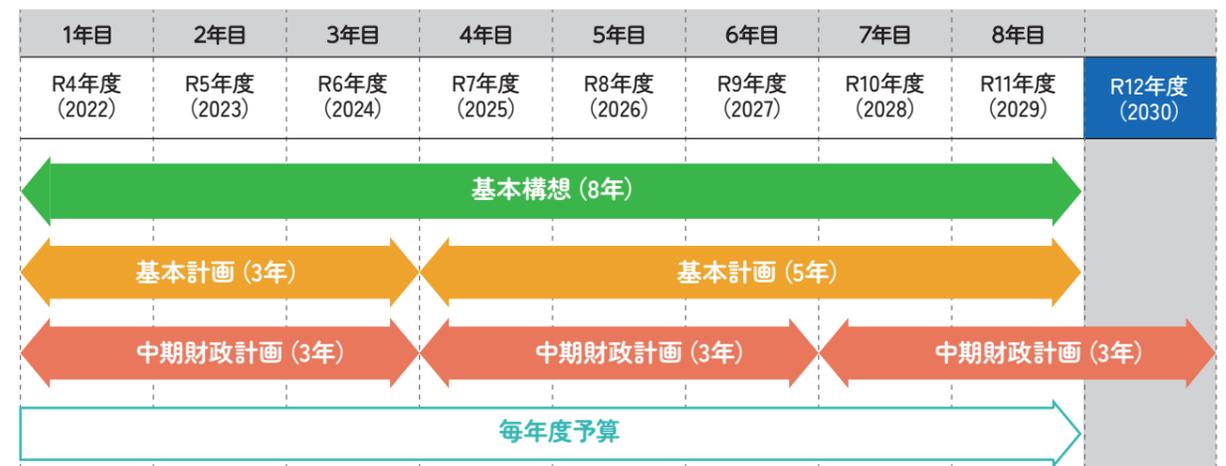
計画期間	前期3年 令和4年度(2022)～令和6年度(2024) 後期5年 令和7年度(2025)～令和11年度(2029)
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 時代の変化に対応するために、前期と後期に分け、各施策に目標値(重要業績評価指標・KPI)を設定し、施策を推進します。</li> <li>○ 前期期間は、「出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略」の計画期間の終期と合わせ、3年[令和4年度(2022)～令和6年度(2024)]とします。</li> </ul>

### 〈 推進体制 〉

基本計画については、施策ごとにPDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)による点検・評価検証を毎年度実施します。必要に応じて、施策内容や目標値を見直すことで、より効率的で効果的な施策を実施します。



### (3) 計画期間





### 人口減少・少子高齢化

人口減少と少子高齢化の進行により、社会経済活動の担い手が減少し、社会保障の問題や地域コミュニティの維持が困難になるなど様々な影響が懸念されています。将来にわたって活力ある地域社会を維持していくため、人口、経済、地域社会の課題に一体的に取り組む必要があります。



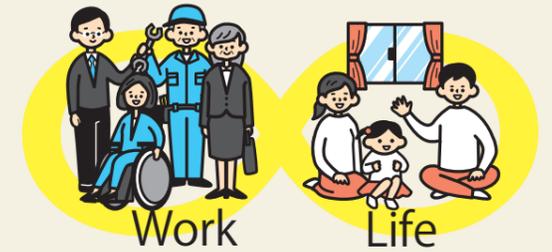
### 安全・安心意識の高まり

全国的に、豪雨や地震などの自然災害、高齢者や子どもの交通事故、特殊詐欺による被害などが発生しており、安全かつ安心して暮らせる社会づくりが求められています。



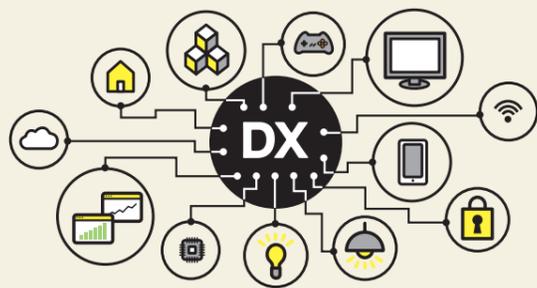
### 環境・エネルギー問題

地球温暖化をはじめとする地球規模での環境問題が深刻化し、国際的にも意識が高まっています。脱炭素・循環型社会の形成に向け、行政、企業及び市民がそれぞれ責任ある行動をとることが重要になっています。



### 価値観や ライフスタイルの多様化

人々の価値観やライフスタイルの多様化が進んでおり、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）が実現した社会を構築していくことが重要になっています。また、国籍、性別、性的指向、性自認、年齢、障がいの有無などにかかわらず、市民一人ひとりが活躍する社会の実現が求められています。



### 情報技術の進展

DX（デジタルトランスフォーメーション[デジタル技術による変革]）の取組により、行政のみならず、社会全体のデジタル基盤整備・デジタル技術活用を進め、デジタルサービスが広く浸透し、さらにそれらのサービスが連動していくことで、様々な社会課題を解決し、価値を創造していくことが期待されます。



### SDGsの推進

「誰一人取り残さない」社会の実現をめざし、社会・経済・環境の調和を取りながら広範囲な課題に総合的に取り組むための17の目標「SDGs」の推進が求められています。



### ウィズコロナへの対応

新型コロナウイルス感染症は、社会全体に大きな影響を与えました。ウィズコロナ、アフターコロナの新しい生活様式に対応できる新しい社会を築いていく必要があります。



### 協働によるまちづくり

人口減少や行政ニーズの多様化など、地域社会における課題は複雑化かつ多様化しており、このような地域課題の解決に当たっては、行政のみならず、市民・地域活動団体・企業など様々な主体が協力して取り組むことが重要になっています。

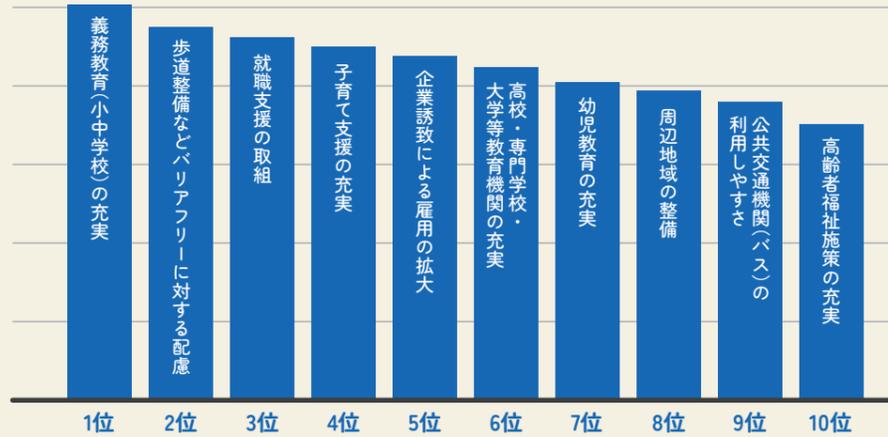
# 03

## 市民のニーズ

令和3年度(2021)実施の市民満足度調査や高校生アンケートの結果などから、市民のニーズを以下のように整理します。

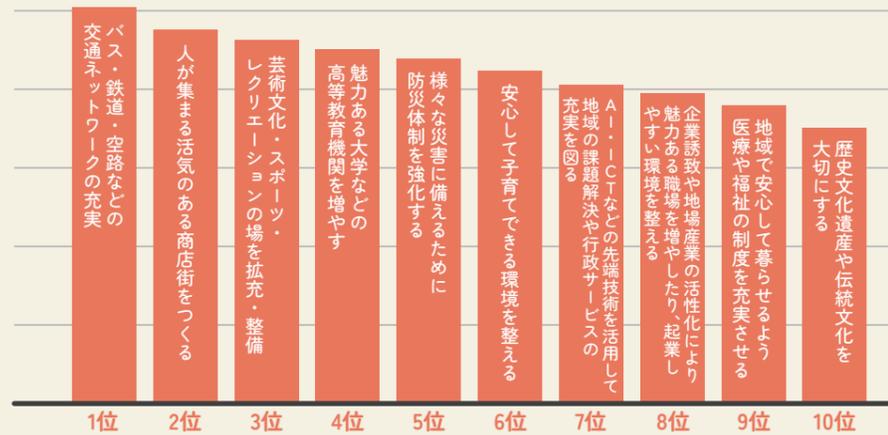
### ■ 市民のニーズ(市民満足度調査の結果から)

上位10位は、以下の結果となりました。

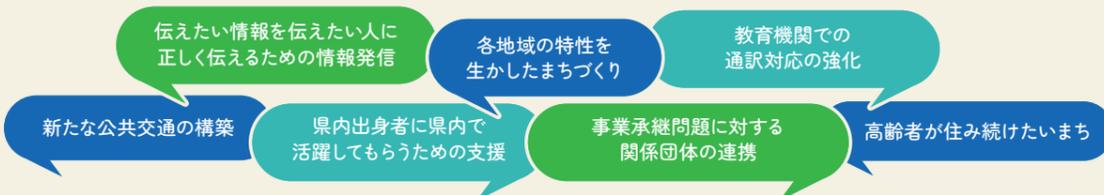


### ■ 高校生が思う今後のまちづくりに向けて重要だと思う取組

上位10位は、以下の結果となりました。



### ■ 市職員若手ワーキンググループによる各種団体へのヒアリング結果



- デジタル技術を活用して行政サービスを充実させてほしい
- 日本語が苦手でも楽しく勉強がしたいな
- 安心して子育てができる環境と支援がほしいです
- いじめや差別がなく楽しく勉強できる学校生活を送りたいな
- 災害時には迅速に対応してもらいたい
- 登下校のときに使える公共交通があればいいな
- 若者が集える活気のある場所があるよ
- 外国人が安心して暮らせる環境が必要ですね
- 免許返納しても外出しやすい移動環境が必要だ
- 中心市街地だけでなく出雲市全体が賑わってほしい
- 高齢になっても安心して住み続けたいわ
- 地球環境を守るため脱炭素社会に向けて動こう
- 中山間地域での暮らしも守らなければ
- デジタル化で様々なことをもっと便利に
- 地域に魅力的な働く場所がたくさんあるといいな
- 円滑な企業活動のためには災害に強いまちと充実した道路網が必要だね
- 安心して子育てできる環境を整える
- 歴史文化遺産や伝統文化を大切にす



**社会情勢**

**市民ニーズ**

前「総合振興計画」の  
施策の評価・検証  
(詳細資料)



# 課題

<p><b>1</b></p> <p><b>人口減少・ 少子高齢化対策</b></p> <p>雇用創出、Uターン施策の 取組、中山間地域対策</p>	<p><b>2</b></p> <p><b>デジタル ファーストの推進</b></p> <p>「市民サービス」「まちづくり」 「産業・観光」のデジタルファースト に向けた取組</p>	<p><b>3</b></p> <p><b>地域公共交通 ネットワークの充実</b></p> <p>市内のバスやJR、一畑電車の 利用促進とサービス改善、 空港利用者の増加</p>	<p><b>4</b></p> <p><b>教育の充実と 人材育成</b></p> <p>全ての年代の教育環境の 充実、創造性豊かな人材育成</p>
<p><b>5</b></p> <p><b>安全・安心な まちづくり</b></p> <p>大規模災害や感染症等に対応 する危機管理体制や、防災・減災 対策、地域防災力の強化</p>	<p><b>6</b></p> <p><b>子育て環境の 充実</b></p> <p>結婚・出産・子育ての切れ目 のない支援と子育て環境の 充実</p>	<p><b>7</b></p> <p><b>交流人口と 関係人口の増加</b></p> <p>縁結びのまち出雲の観光資源を 活用した観光振興策の強化と、 市外に住んでいても出雲に関わる人 (関係人口)の創出に向けた取組</p>	<p><b>8</b></p> <p><b>都市基盤の整備・ 都市機能の充実</b></p> <p>道路整備等による交通 環境整備と交通安全確保、 国土強靱化の推進</p>
<p><b>9</b></p> <p><b>脱炭素社会の 実現</b></p> <p>再生可能エネルギーの導入 促進や二酸化炭素排出削減に 向けた取組</p>	<p><b>10</b></p> <p><b>産業振興と 雇用環境改善</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症により 落ち込んだ産業全般の回復と雇用 環境の改善のための対策強化</p>	<p><b>11</b></p> <p><b>全ての人 が暮らしやすい まちづくり</b></p> <p>保健・医療・福祉の質の向上、 多文化共生の取組</p>	

# 出雲力

いずもりよく

### 産業力

魅力ある就職先



農業産出額  
県内1位



集積する医療機関



工業製品出荷額  
県内1位



全国有数の  
しじみの漁獲量



商業のまち



地域の力



外国人住民の力



観光入込客数  
県内1位



「出雲」の持つ  
あらゆる力を「出雲力」と表現し、  
この「出雲力」を2030にむけて  
さらに高め、力強くまちづくりを進めます。

人と人のつながり



### 歴史・文化・ 自然の魅力

音楽のまち



広大な出雲平野



緑あふれる山々



美しい築地松



斐伊川(水)の恵み



出雲神話



神在月



出雲そば



神話のふるさと



大学三大駅伝  
出雲駅伝



人口減少に打ち克つ力



世界に羽ばたく  
出雲ブランド



縁むすびの聖地



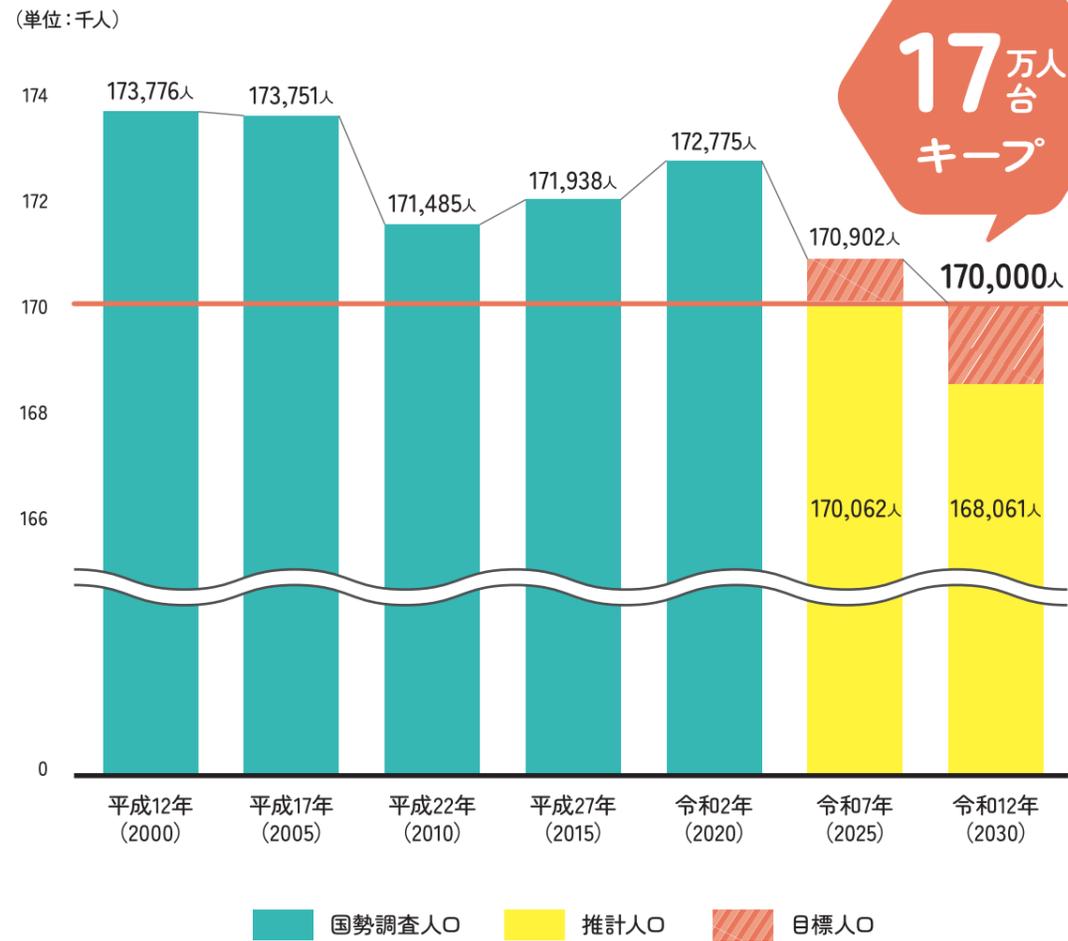
### ブランド力

### 人の力

# 06

## 目標人口 / 令和12年(2030)

本基本構想に掲げる施策を着実に実行することで、令和12年(2030)の目標人口17万人台キープをめざします。



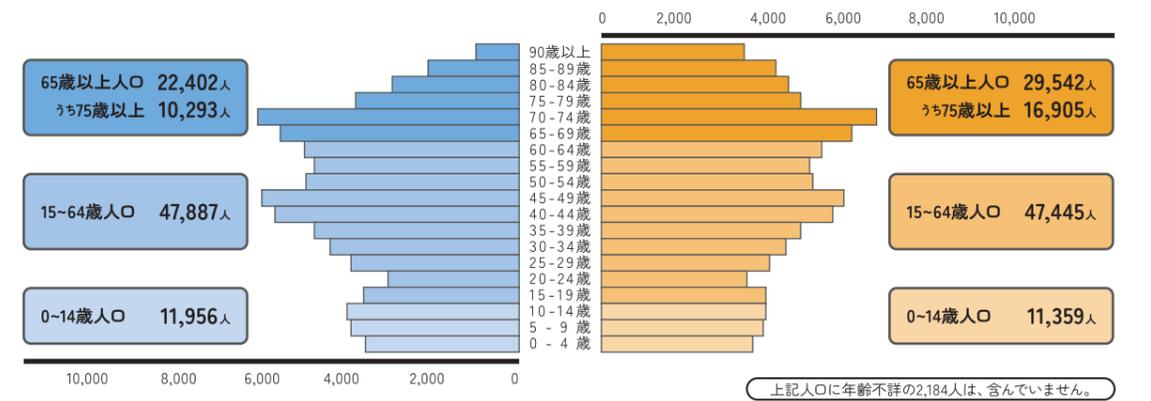
令和2年(2020)3月に策定した本市人口ビジョンでは、長期的にみると総人口の減少傾向が続き、令和12年(2030)には17万人を割り込み16万8千人になると推計しています。

人口減少・少子高齢化の進展は、社会保障をはじめとする行政サービスの拡大を招く一方で、社会経済活動の縮小により税収の減少などにつながります。また、地域活動や地域行事・文化の継承が困難となり、ひいては地域コミュニティの崩壊につながることも考えられます。

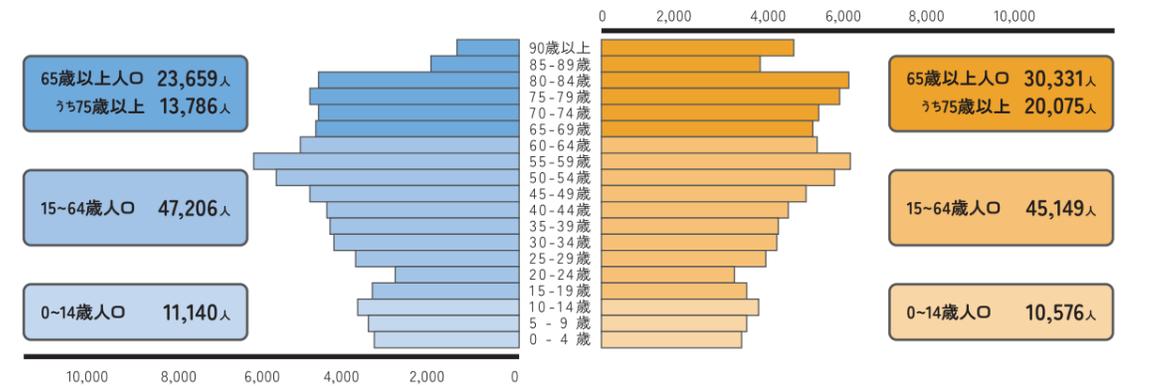
本市においては、雇用の場や働く人材の確保、移住・定住対策、結婚から子育てまで切れ目のない支援に加え、新しい時代の流れにも対応しながら、若者の夢がかなえられる、誰もが生き生きと活躍できる、そしてどこに住んでいても安全、安心に暮らせるまちづくりを進めることで、令和12年(2030)の人口17万人維持をめざします。また、特に山間部や海岸部などの人口減少が顕著な地域においては、それぞれの地域が抱える個別課題を多様な視点から整理し、分野横断的な施策を展開することで課題解決につなげます。

## 将来人口推計と目標人口推計

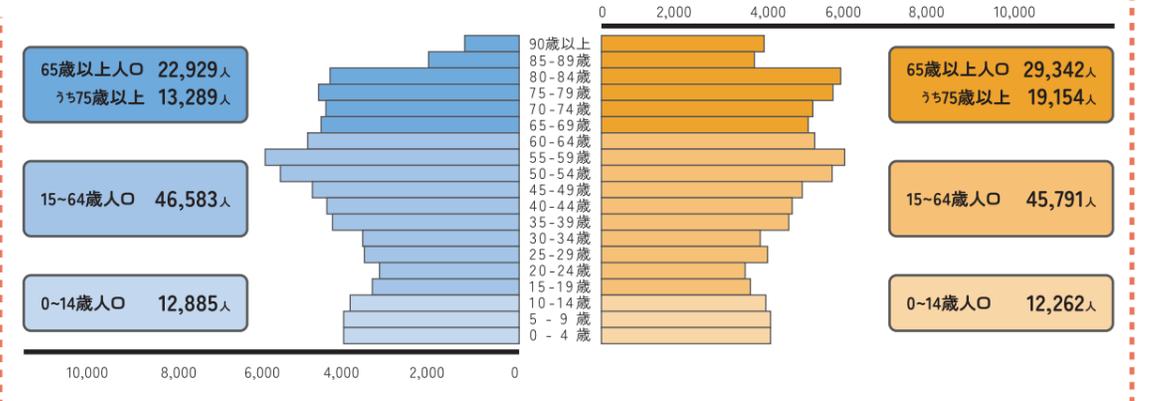
■ 出雲市 人口ピラミッド 令和2年(2020) [R2 国勢調査]



■ 将来人口推計 令和12年(2030) [H30 社人研推計(※) 準拠]



■ 目標人口推計 令和12年(2030)



本市人口ビジョンでは、令和42年(2060)に向けて、出生数が減少し、年少人口(0歳~14歳)の割合が少ない「つぼ型」の人口ピラミッドになると推計しています。この年少人口割合の減少傾向は、令和12年(2030)推計人口において既に現れており、早期の対策が必要です。

目標人口では、出生数の増加や社会増により、年少人口を増加させることで、人口増減の均衡がとれた「つりがね型」の人口ピラミッドとなるよう、年齢構成のバランスの改善をめざします。

※平成30年(2018)に国立社会保障・人口問題研究所が公表した人口推計